

No.41

令和4(2022)年5月1日発行

主 な 内 容

皆さんの声を議会へ
(代表質問等) …… 2～5

予算審査特別委員会
審査報告 …… 6～8

主な議決結果 …… 9

インターネット中継のお知らせ
傍聴してみませんか …… 10

たきかわ 市議会 だより

「たきかわ市議会だより」をアプリで読めます！



マチイロで検索 (iOS・Android 対応)



令和4年度の一般会計予算は212億1千9百万円

医療、教育、子育て、コロナ対策 など幅広い分野に対応！！

第1回市議会定例会が3月2日から18日までの17日間の会期で開かれ、前田市長から「市政執行方針及び予算大綱」、田中教育長から「教育行政執行方針」の説明がそれぞれ行われました。

令和4年度一般会計予算など市長提出議案27件がいずれも可決されたほか、市政について5人の議員による代表質問等が行われました。



▲ふるさと納税返礼品の一部

ふるさと納税の推進

寄付金予算額15億円
(前年対比+2億円)

滝川市民交流プラザ
運営管理 3,505万円

うまれてくれてありがと
う！健やか赤ちゃん支援
事業 600万円

一般会計・特別会計		予算額	対前年比
一 般 会 計		212億1900万円	1.2%
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	44億9402万円	-0.7%
	公営住宅事業特別会計	4億4115万円	2.9%
	介護保険特別会計	39億7523万円	-0.9%
	後期高齢者医療特別会計	7億1567万円	7.8%
合 計		308億4507万円	0.8%

企業会計		予算額	対前年比
下 水 道 事 業	収入計	19億7180万円	-8.4%
	支出計	24億91万円	-5.2%
病 院 事 業	収入計	74億9103万円	9.1%
	支出計	79億759万円	1.2%

皆さんの声を議会へ



当市議会では、市政全般にわたって事業の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、執行機関からの報告・説明などを求める一般質問において、個人質問と代表質問が認められています。代表質問は会派代表者が市政執行方針等に対して行うもので、改選年を除いて3月定例会において行われています。住民から重大な関心と期待を持たれていることについて問いかけ、議員自らが提言を行い、政治姿勢を示すことができる大事な議員活動の場です。

本会議場での議員一人当たりの質問時間は会派代表者が45分以内、無所属議員は15分以内となっています。今議会では2日間にわたり行われ、5名の議員が質問しました。その一部をお知らせいたします。

質問者	全質問項目
東元 勝己 (会 派 清 新)	市政運営の基本姿勢 新滝川市総合計画 新型コロナウイルス感染症対策 ワーケーションの展開 公共施設個別施設計画 各種計画の策定方針 地域おこし協力隊の活用 立地適正化計画の方向性 市立病院看護師確保対策 國學院大學観光まちづくり学部との連携 資源リサイクルの推進 自治体DXの推進 滝川市第2期財政健全化計画 教育行政の基本方針 学校教育
佐々木和代 (新 政 会)	新型コロナワクチン接種 新規就農者の育成確保 市内新卒者の地元定着 道の駅たきかわの集客 外国人受入対応及び生活支援事業 コロナ禍での介護予防 介護人材の確保 市立病院看護師確保対策 子育て支援事業 國學院大學観光まちづくり学部との連携 町内会のあり方 滝川市第2期財政健全化計画及び滝川市立病院経営改善計画 自治体DXの推進 学校教育
木下八重子 (会 派 み どり)	財政健全化の推進 文化センターの建て替え コロナ禍での産業振興 新規就農者の育成確保 公園改修の基本方針 公営住宅の建て替え 介護・高齢者対策 特定検診の推進 災害時に備えた人材育成 障がい児支援の充実 子育て支援の充実 國學院大學観光まちづくり学部との連携 江部乙地域のコミュニティ対策 新文化センターの機能
三上 裕久 (公 明 党)	地方創生臨時交付金の活用 ウイズコロナ・アフターコロナを見据えたまちづくり 文化センターの建て替え 新滝川市総合計画における駅前・駅裏の方向性 新規就農者の育成確保 市内新卒者の地元定着 観光資源の活用 道の駅たきかわの観光拠点化 外国人受入対応及び生活支援 人口減少・超高齢社会に対応するまちづくり 公園改修の基本方針 公営住宅の建て替え 路線バスのあり方 介護予防及び認知症本人とその家族への支援 脳ドック健診の助成 市立病院看護師確保対策 水害タイムラインの住民周知 空家対策計画の実効性 子育て支援事業 國學院大學観光まちづくり学部との連携 持続可能なコミュニティセンターの運営方法 滝川市民交流プラザの利便性 関係人口の創出 中空知定住自立圏構想 ふるさと納税PR事業 マイナンバーカードの普及促進 自治体DXの推進 学校教育 社会教育
寄谷 猛男 (日 本 共 産 党)	文化センターの建て替え 新滝川市総合計画 産業育成と地域おこし協力隊員の活動支援 道の駅たきかわへの支援 子育て世帯の住環境の充実 地域公共交通の広域検討 高齢者福祉事業 子育て環境の充実 文化センター代替施設のメリット 学校教育

第1回定例会 代表質問から

ワーケーション推進事業について



東元 勝己
会派清新

問 グライダーを主軸としたワーケーション推進事業とは何かを伺う。

答弁 昨年度実施したモデル事業では、ワーク環境の整備や企業版ふるさと納税制度の活用のほか、他都市と比較して特に優位性の高い資源であるグライダーの積極的な活用提案がモニター参加者等からあったところであり、これを踏まえ、本市独自の魅力であるグライダーを地域ブランドとして磨き上げながら、グライダークラブを有する企業や航空関係事業者等をターゲットに事業展開を図ることで、交流・関係人口の拡大や地域経済の活性化を図っていきたいと考えています。

問 滝川市総合計画におけるSDGsの取り組みについて伺う。

答弁 内閣府の調査によると全国の自治体のうち6割強が既にSDGsの取り組みを推進しており、加えて約3割が今後推進していく予定との結果が出ています。

本市でも令和2年に策定した第2期滝川市・まち・ひと・しごと創生総合戦略で、各施策とSDGsの17の目標との関連性を紐づけており、総合計画でも策定作業を進めるなかでSDGsの考え方を取り入れていきたいと考えています。

問 江部乙中学校と江陵中学校の統合後における生徒の精神的負担の軽減に向けた対応策について伺う。

答弁 生徒会や部活動を単位とした交流をはじめ、実際に合同で授業を受けるなど様々な形で交流を行い生徒の不安感の払拭に努めてきました。統合後は、江部乙中学校の教職員を江陵中学校へ数名配置するなど人事面での配慮や、江部乙中の生徒が孤立しないよう配慮した学級編制のほか、通常5月に行う修学旅行等も生徒間の関係性を築く時間を考慮し、遅らせることを検討するなど、教育課程でも生徒に寄り添った配慮をしていきます。

町内会のあり方について



佐々木和代
新政会

問 町内会の維持が困難であるとの相談が増えつつあることから、持続可能な地域活動を目指すため、コミュニティ組織のあり方や各地区コミュニティセンターの運営方法についての見直しを進めるとあるが、具体的にはどのようにする考えなのかを伺う。

答弁 昨今、高齢化や戸数の減少、共働きや高齢者層の雇用促進等によりこれまでコミュニティを支えていた担い手の不足が急速に進み、加えてコロナ禍で集うことが制限され、コミュニティへの関心が薄れていることに危機感を覚えています。そのため、町内会の現状を踏まえながら、モデル的な活動を積極的に紹介するとともに、若年層との接点強化に向け、町連協と連携したライン活用講座や親子避難所体験の実施など、若い世代と町内会が交流しながら地域を考えられる取り組みを推進していきたいと考えています。

問 介護人材の育成と確保に向けた取り組みを進めるとあるが、具体的な内容を伺う。

答弁 多様な人材参入の実現に向けて、すそ野を拡大することが重要と考えています。介護を知りたい・学びたい方を対象とした入門的研修を新年度も実施するほか、併せて、介護の仕事の魅力アップにつなげる啓発事業を実施していきます。

問 いきいき百歳体操がコロナの影響で思うように実施できない状況のなか、新たな施策はあるのかを伺う。

答弁 新たな施策ではありませんが、百歳体操参加者のうち、85歳以上の方や健康状態等が心配される方を対象に電話で健康状態や運動の実施状況等を確認するとともに相談なども受け、ケアに努めているところです。今後においてもコロナ禍が続くことが予想されることからより良い方策について検討していきます。

第1回定例会 代表質問から

財政健全化の推進について



木下八重子
会派みどり

問 令和4年度末基金残高が50億円を超える見込みからすると、着実に財政健全化の方向は見てきたと思うが、依然として市立病院への多額の繰入が予想されるなかで、今後の見通しと方策について伺う。

答弁 一般会計から病院事業会計への繰出金につきましては、病院事業分として地方交付税で措置されたものやこれまでの協議経過により一般会計で負担すべきとしてルール化したものであり、令和4年度予算における病院事業経営改善のための繰り出しは、第2期財政健全化計画どおりの1億4千万円となっています。市立病院経営改善計画に基づき市立病院と市が一丸となって取り組んだ結果、単年度収支不足・累積収支不足のいずれも圧縮できており、今後も改善に向けた取り組みを着実に推進していきます。

問 江部乙地域では少子高齢化により既に解散した町内会もある。地域コミュニティの再構築に対する対策について伺う。

答弁 江部乙地域においても高齢化や戸数減少により町内会活動の継続が難しいというご相談を受けています。本地域では、認知症予防や地域の魅力を発信する市民活動が活発で、これまで町内会が担ってきた見守り活動や住民同士が楽しめるイベントを、江部乙まちづくりコミュニティ行動隊や農村環境改善センター運営委員会などの団体が積極的に取り組んでいます。こうした活動は、町内会等地縁を中心としたエリアコミュニティの役割を補完し、また國學院短大生の若い力が加わった特徴的な活動でもあります。市としても、住民主体の新たな地域課題解決モデルとして期待をしており、引き続き応援していきたいと考えております。

滝川市文化センターの建て替えについて



三上 裕久
公明党

問 文化センターの建て替えについては、いつまでに事業計画を作成し、予定事業費や財源調達をどのようにするのかを明確にしなければ、前に進めないと考えるが、見解を伺う。

答弁 令和4年度中に策定する滝川市公共施設個別施設計画では、長期財政計画を鑑み、予定事業費や財源調達を考慮しながら複合化や集約化などを念頭に公共施設の再編について示していきます。

財源調達では、国や北海道の補助金を活用するとともに第2期財政健全化計画を堅持しつつ基金残高を増額するなど、できる限りの財源確保に努めていきます。

問 人口減少・超高齢社会においては、コンパクトなまちづくりを進めるために幅広い施策を実施することが求められるが、具体的な誘導策を伺う。

答弁 誘導策としては、公営住宅や学校等の公共施設の再編整備、商業、医療、

福祉施設等の都市機能増進施設整備への支援、公共交通ネットワークの強化等に加え、新築住宅助成、子育て世帯支援等具体事例は数多くありますが、当市の状況を踏まえ、長期的あるいは短期的な視点において取り組むものを優先度、緊急度を考慮するなかで検討していきます。

問 本市のマイナンバーカード普及率は、全道でも上位に位置している。今後の市民の利便性を考えるとき、さらなる普及を目指すべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 無料で顔写真撮影を行う申請窓口の開設、市内事業所等への出張申請、窓口の時間延長、休日窓口の開設等によりこれまで交付率の向上を図ってきました。マイナンバーカードを利用して各種証明書が取得できるコンビニ交付については、今後、経費の見直しや財政状況を考慮して導入時期を判断していきます。

第1回定例会 個人質問から

市民ニーズにマッチした子育て支援策について



寄谷 猛男
日本共産党

問 子育て環境に対する他市町との比較を耳にするが、その原因は保護者ニーズに施策がマッチングしていないことにあるのではないかと推測する。子育て世帯の困りごとやニーズは、実に多種多様であり、相談の際に受ける様々なそうしたニーズを共有し、支援事業に結びつける取り組みについて考えを伺う。

答弁 子育て環境の充実については、保育料無償化の拡大などの経済的支援や子育てしながらでも働きやすい環境の整備、育児中の家事支援などの子育て負担の軽減、子どもの遊び場の確保など施設面での支援などの多様なニーズがあります。新年度の新規事業は、子育て家庭の家計負担や育児による肉体的・精神的な負担の軽減となるよう物心両面から支援できる仕組みとして事業を構築しています。

保護者から寄せられる悩み等は、長い期間の子育て支援につなげるよう既に関

係所管で情報を共有しています。今後も市民・保護者の皆さんの声を聞きながらいろいろ考えて進めていきます。

問 新たな文化センターが建設されるまでの間、代替施設として民間施設を借り上げて市民に提供するとしているが、大ホール以外のまだ使用可能な施設を閉鎖してまで代替施設を確保するメリットとは何かを伺う。

答弁 文化センターの代替施設として設置する滝川市民交流プラザは、ホール機能と貸室機能を併せ持つことの利便性を確保した上で、旧施設の廃止により二重に経費がかかることを回避しています。また、これまでの文化センター運営費を下回る一般財源額で運営していく予定であり、新たな施設建設までの間、財源的メリットを維持しつつ、必要な機能を代替していく考えです。

滝川市議会では、新型コロナウイルスの感染防止を徹底しながら、市内イベントへの協力や国際貢献に取り組んでいます。

議員活動の紹介 Topics

滝川市議会議員会がウクライナに支援金

滝川市議会議員会（柴田文男会長）は、3月30日、ウクライナへの支援金10万円を日本赤十字社北海道支部滝川地区に寄付しました。

滝川市議会は同月10日、第1回市議会定例会において、「ロシア連邦によるウクライナ侵略を厳しく非難し、平和的な解決を求める決議」を全会一致で可決しており、人道支援の一環として支援を決めました。



▲日赤滝川地区長である前田康吉市長（右）に支援金を手渡す関藤龍也議長（中央）と本間保昭副議長（左）

第20回たきかわ紙袋ランタンフェスティバル
LIVE 配信企画

想いを繋ぐランタン
《ランタン・ハートパス》

2月19日(土)にLIVE配信で開催された標記イベントに滝川市議会も参加し、コロナに負けず工夫を凝らしてイベントを開催された実行委員会の皆さんへ敬意を表しました。



▲LIVE配信用動画撮影

第1回 定例会

予算審査特別委員会審査報告

一般会計など全予算を“可決”

本定例会では、第1および第2予算審査特別委員会を設置し、3月14日から17日まで各委員会を開催し、令和4年度一般会計予算ならびに特別会計4件、企業会計2件について審査を行いました。

空 家 対 策

問 雪による家屋の倒壊防止に向け、特定空家等の調査の頻度を増やす計画はあるのか。

答 特定空家は、降雪前と融雪後の年2回の定期調査のほか、荒天が予想されるときには前後に確認を行うとともに、市民の皆さんから通報があった場合も随時確認を行っている。雪による損傷については、公道に落雪する可能性が高いと思われる空家を中心に巡回を行っており、今後はその際に特定空家の確認も行っていきたい。

東地区学童クラブについて

問 東地区学童クラブの定員超えが続いているが、何らかの対策を考えているのか。

答 現在、東地区学童クラブの施設の拡大や、代替施設の確保については難しい状況である。今後の児童数の推移を見て検討していく。



合同墓埋葬立会委託業務

問 合同墓埋葬立会委託業務では、業者はどのような役割をするのか。

答 業者は、当日の受付から実際に埋葬するまでのサポート等のほか、周辺環境の清掃なども行う。

スマート水田実証プロジェクト

問 スマート水田実証プロジェクトの昨年までの進捗度合いと、本年度の予定について伺う。

答 このプロジェクトは、令和3年度と4年度の2か年で実証実験を行うものであるが、令和3年度は圃場水管理システムの導入が遅れたため、効果の実証は限られたものであった。本年度は、圃場水管理システムの導入効果を通年で検証し、北空知土地改良区の揚水機場の制御試験、滝川工業高校との防護施設等の機械開発に取り組む予定である。

NAKASORAにこよう 推進協議会

問 NAKASORAにこよう推進協議会とはどのようなものか。

答 地元企業の人手不足の改善を目指した、滝川市、赤平市、芦別市、上砂川町で構成される協議会で、令和3年度には学生を対象にVR技術を活用した企業見学会の実施や、企業を対象にしたオンラインセミナーを開催した。令和4年度についても、企業見学や仕事体験事業、企業向けセミナー等の開催を検討している。



コミュニティスクールの活動

問 コロナ禍によりコミュニティスクールの活動ができなかったと思うが、令和4年度はどのような活動を考えているのか。

答 学校から要望があった長期休暇中の学習支援や課外学習支援にボランティアとして対応するとともに、市内各中学校区の学校運営協議会で地域連動の事業を展開していきたいと考えている。

空知管内公共ホール等使用料補助金

問 空知管内公共ホール等使用料補助金を申請するにはどのような要件があるのか。

答 申請対象者は、本来文化センターの大ホールを使用することが予定されていた市内団体等で、滝川市民交流プラザのメインホールの収容人数を超えるものや、吹奏楽器による音楽活動を行うものが、指定された空知管内の公共ホールを使用する場合に、会場使用料の2分の1（上限額15万円）を補助する。なお、吹奏楽器による音楽活動を行う市内学校の部活動については、移動等にかかる経費を別途補助する。

下水道管の老朽化対策

問 全国的に下水道管の老朽化による道路の陥没が話題になっているが、当市における調査や防止への取り組みはどのように行っているのかを伺う。

答 平成24年度から継続的に老朽管の調査を実施しており、現在は主要な管渠が埋設されている幹線など約50kmについて目視やテレビカメラでの調査を計画的に実施している。

問 下水道管の上に設置されているマンホール部分が盛り上がってくるという現象が市内でも散見されているが、改良方法をどのように考えているのか。

答 冬期間の道路の凍上現象や劣化に伴い、マンホールの周囲が部分的に下がっていく傾向にある。全てを解消するのは難しい状況だが、凹凸が激しい箇所はマンホールを下げるよう対応をしていきたいと考えている。

市民の健康増進

問 特定健診の受診率向上対策として何かあればお伺いしたい。

答 これまでも、はがきや電話による勧奨や脳ドックによる検診事業の拡大、特定健診と無料がん検診をセットにしたキャンペーンを実施してきた。

今後は、20～30歳代を対象に勧奨チラシを送付するほか、41歳になる方へは特定健診を受診することで男性には胃、肺、大腸がん検診を、これに加えて女性には子宮がん、乳がん検診を無料で受診できるキャンペーンなどを行う。

問 脳ドックの受診者の定員を増員する計画がなされているが、ほかに特定健診の対象科目を少しでも増やすなど市民の健康増進を図る方策について伺う。

答 今後の検査項目の拡大については、高血圧、脂質異常症、糖尿病などの発見につながる検査項目や人間ドックといったものが考えられるが、助成費用については市の単独費用となるため、まずは脳ドック費用助成事業の効果検証を行いながら、そのほかの効果的な検査等についても実施の可能性を含めて検討する。

予算審査特別委員会 における各会派討論

◎会派清新

長引くコロナ禍により先が見えない状況が続くなか、ここ数年着実に成果をあげているふるさと納税の首都圏を中心とした積極的なPR活動と、市内業者と連携し、新たな返礼品開発により歳入の確保に努められたい。

市民が安心して生きがいを持って活動できるよう、コロナ対策や市民交流プラザなどの施策においては充実した内容にするよう望む。教育分野において、GIGAスクール構想の充実した活用とグローバル化が進む国際社会に対応できる人材育成のため、語学指導の充実に努められたい。病院事業会計はコロナ収束後を見据え、医業収益の確保、経費の節減、中堅看護師の確保など経営の安定化に向けた取り組みを進めることを望む。

◎新政会

いまだに収束しないコロナへの対策は、予算執行において迅速かつ的確な対応が求められ、年度内においても、国の施策に敏感に対応することを求める。

人口減少が進む本市において、現在策定を進めている滝川市総合計画、滝川市公共施設個別施設計画、立地適正化計画は、市政の重要な道しるべとなり、住み続けたいまちにするためにも、知恵を結集した計画とすることを望む。

後期高齢者医療における地域包括ケア等の広域的な対応、また高齢者の予防医療並びに健全な組織運営に努力されたい。下水道設備の長寿命化を計画的に実施すること。市内病院及び医師会との連携を密にし、さらなる協力体制を構築し、医療従事者の確保と滝川市立病院経営改善計画による着実な健全経営を望む。

◎会派みどり

高齢者、障がい者に対するきめ細やかな施策を引き続き丁寧に実施し、全ての事業の事前PRとアフターフォローを大切に、住みよいまち滝川を目指すこと。市民交流プラザの開設運営については、利用者の声を反映し積極的に活動支援をすることを望む。他市の道路陥没事故を教訓に、市内の道路・橋梁・河川の監視及び補修をし、市民生活の向上を目指し対応するよう求める。

国民健康保険税の収納率は年々改善しているが、公平性確保のためさらなる改善を求める。高齢化が進むなか、健康な老後生活を促すためにも特定健診の受診項目拡大とさらなる勤奨を求める。病院事業では、依然として厳しい収支状況のなか、コロナ対策の空床確保交付金のみならずさらなる経営改善に努めていただきたい。

◎公明党

今後のコンパクトなまちづくりと財政負担の縮減に向けて非常に重要な計画となる滝川市公共施設個別施設計画の策定にあたっては、市民意見を反映する一方で、将来的に廃止せざるを得ない施設については、大なたを振るってでも市民理解を求めるようなものにする。

滝川の将来を思うとき、いつ起こるか分からない自然災害、また人口減少・基幹産業の低迷などが考えられ、決して明るいとは言えない。新滝川市総合計画をはじめとする各計画が本市の将来を決定づけるとの思いと、市職員には滝川の将来を築くのは今の自分たちであるとの自覚と誇りを持って、職務に努めていただきたい。

◎日本共産党

新年度に多くの学校施設の改修工事が行われるが、子どもが安全安心に過ごせる学校施設を優先した滝川市公共施設個別施設計画を策定されたい。多くの市立・公立病院はコロナ禍ということもあり、経営を黒字化し安定させることは容易ではない。経営改善計画実施支援業務委託の成果が見えないのであれば、見直し対象とする必要がある。

生活保護利用者に有益な制度を様々な媒体を活用して周知することが行政の務めだと考える。給食調理の委託化により安定した供給が確保され課題のひとつが解決したが、給食費の無償化・軽減措置に向けて今後取り組むよう求める。

令和4年第1回定例会議決結果

議案番号	件 名	議決結果
報告第1号	専決処分について（令和3年度滝川市一般会計補正予算（第13号）） 新型コロナワクチン接種対策事業費の増額を行うための予算を措置したものです。	承認
議案第1～7号	令和4年度滝川市各会計予算	原案可決
議案第8号	令和3年度滝川市一般会計補正予算（第14号） マイナンバーにより情報連携するための住民記録システムの改修、保育士や幼稚園教諭等の賃金改善のための補助金の交付、丸加高原専用水道改修工事実施設計を行うため等に係る補正予算です。	原案可決
議案第9号	令和3年度滝川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第10号	令和3年度滝川市公営住宅事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第11号	令和3年度滝川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第12号	令和3年度滝川市病院事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第13号	滝川市民交流プラザ条例 滝川市文化センターの廃止に伴い、代替施設を設置するために制定するものです。	原案可決
議案第14号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第15号	滝川市税条例の一部を改正する条例 滝川市国民健康保険税における未就学児の被保険者均等割額の軽減を行うための改正です。	原案可決
議案第16号	滝川市民福祉条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第17号	滝川市立高等看護学院条例の一部を改正する条例 滝川市立高等看護学院の建替移転に伴い、所在地を変更するための改正です。	原案可決
議案第18号	滝川市文化センター条例を廃止する条例 滝川市文化センターを廃止するために制定するものです。	原案可決
議案第19号	公の施設の指定管理者の指定について（コミュニティセンター等） 令和4年4月1日から3年間、各地域運営委員会を指定管理者として指定しました。	原案可決
議案第20号	公の施設の指定管理者の指定について（中地区児童センター） 令和4年4月1日から3年間、中地区コミュニティセンター運営委員会を指定管理者として指定しました。	原案可決
議案第21号	公の施設の指定管理者の指定について（身体障害者福祉センター等） 令和4年4月1日から3年間、滝川身体障害者福祉協会を指定管理者として指定しました。	原案可決
議案第22号	教育委員会委員の任命について 種田貴志子さんが任命されました。	原案同意
議案第23号	固定資産評価審査委員会委員の選任について 白木正博さんが再任されました。	原案同意
議案第24号	予算審査特別委員会の設置について	原案可決
議案第25号	令和3年度滝川市一般会計補正予算（第15号）	原案可決
議案第26号	令和4年度滝川市一般会計補正予算（第1号） 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業、コロナワクチン接種対策に係る補正予算です。	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について 新たに岩岬稔さんが推薦されました。	可と答申
意見書案第1号	コロナ禍での消費拡大対策の強化と水田活用交付金の見直しに関する要望意見書	原案可決
意見書案第2号	介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種の拡大を求める要望意見書	原案可決
決議書案第1号	ロシア連邦によるウクライナ侵略を厳しく非難し、平和的な解決を強く求める決議	原案可決
請願第1号	「核兵器禁止条約への署名・批准を行うことを求める意見書」の提出を求める請願	不採択

令和4年第1回臨時会議決結果

議案番号	件 名	議決結果
報告第1号	専決処分について（令和3年度滝川市一般会計補正予算（第10号）） 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業を行うための予算を措置したものです。	承認
報告第2号	専決処分について（令和3年度滝川市一般会計補正予算（第11号）） 住民税非課税世帯への臨時特別給付金給付事業を行うための予算を措置したものです。	承認
報告第3号	専決処分について（訴訟上の和解）	報告済
議案第1号	令和3年度滝川市一般会計補正予算（第12号） ふるさと納税の増額見込みに伴う返礼品等の増額、燃料単価の値上がりによる除排雪委託料の増額等に係る補正予算です。	原案可決

※「請願」は10ページの「用語を理解して議会をもっと身近に！」を参照

なるほど、そうなんだ

用語を理解して議会をもっと身近に！

■決議（P 5）

市民生活に直接かかわる緊急、重大な事項に関し、議会の意思を対外的に表明するために行う議決のことをいいます。

■討論（P 8）

会議において、表決の前に議題となっている案件に対して、議員が賛成か反対かの意見表明を行うことをいいます。

■請願（P 9）

請願は憲法で保障されている国民の権利のひとつで、国民が国または地方公共団体等に対して、意見や希望を述べることをいいます。

地方議会に対して請願を提出するには、1名以上の議員の紹介が必要になります。

インターネット中継のお知らせ

滝川市議会では議会改革の一環として、より多くの市民の皆さんに本会議を見ていただけるよう、YouTube（ユーチューブ）により会議の様子をインターネット上で配信します。視聴される場合は、「滝川市議会YouTubeチャンネル」をクリックしてください。

なお、本会議開催中の場合は、滝川市議会YouTubeチャンネル内でライブ中継が配信されます。また、過去の配信映像も同チャンネル内でご覧いただけますのでご利用ください。



たきかわ市議会
ホームページQR



傍聴してみませんか

令和4年第2回滝川市議会定例会
開催予定日をお知らせします。

日	月	火	水	木	金	土
5/29	30	31	6/1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14 本会議	15	16	17	18
19	20 本会議 一般質問	21 本会議 一般質問	22	23	24	25
26	27	28	29	30	7/1	2

※矢印は会期を示します。

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認してください。

問い合わせ 議会事務局 ☎28-8048

編集後記

今年も、桜の開花の季節となりました。桜は、季節の移り変わりと同時に、爽やかな春を感じさせてくれます。滝川市の友好親善都市である沖縄県名護市は、毎年1月下旬にさくらまつりが開催され、「日本の春は、ここからはじまる」をスローガンに鮮やかなピンク色に咲いた寒緋桜が来場者を魅了します。日本列島の大きさと季節感の違いを感じますね。

コロナウイルスが世界をしんかんさせてから、3回目の春を迎えました。もうそろそろと思う日々を過ごしながら3年目になりましたが、皆さんも感染対策に万全を期し、生活されていることと拝察いたします。

今年は満開の桜のように、明るく希望の見える1年にしたいものです。

たきかわ市議会だより編集委員会
委員 水口典一

発行責任者 滝川市議会議長 関藤 龍也